

小豆島町立学校等施設 適正配置基本方針

平成21年9月

小豆島町教育委員会

平成21年9月25日

小豆島町立学校等施設適正配置基本方針

本町の児童生徒数等は、過疎化や少子化により、年々減少を続けており、町内の現有施設整備を行った昭和40年、50年代の2分の1以下となっている。また、多くの施設が昭和56年以前の建築であることから、耐震性に問題を抱えており、計画的に耐震化を図っていく必要がある。

このようなことから、町長から「小豆島町学校再編整備検討委員会（以下、検討委員会という。）」に対し、平成19年10月31日に、小豆島町町立学校等の施設整備基本計画、統合等の将来構想の策定に関する事項の諮問を行った。その結果、検討委員会から、平成21年2月27日に答申が提出され、中学校施設、小学校施設及び幼稚園・保育所施設についての耐震化及び統廃合の方向性が示されたところである。

この答申を受けて、町長は、小豆島町立学校等施設の適正配置に向けて取り組むことを決定し、教育長に対して、答申を尊重した基本方針を策定するよう指示があった。教育委員会においては、教育長からの報告を受けて、小豆島町立学校等適正配置基本方針を策定することとなった。

教育委員会では、児童・生徒数が減少していく中で、学校訪問等を通じ、適正規模での教育が望ましいと感じることもあり、耐震化を含めた施設の整備及び学校運営等を総合的に判断し、基本方針を策定することが重要であるとの結論に達した。

今回、検討委員会の答申を尊重し、平成21年度から25年度までの小豆島町立学校等施設の適正配置基本方針を定め、各施設の耐震化を図りながら、統合に向けて取り組みを進めることとする。

記

1. 中学校は、池田中学校校舎の耐震化については、生徒の安全を確保することを最優先に考え、耐震補強工事を実施するため、早期に2次診断を実施する。

池田中学校と内海中学校との統合については、耐震化の方針を明確にしたうえで、統合を進めることとし、保護者及び地域との協議を行う。

2．小学校施設の耐震化については、池田小学校校舎の耐震補強工事を実施するとともに、安田小学校校舎は、2次診断の結果を踏まえて、耐震補強工事を実施する。

統廃合については、星城・安田・苗羽の3小学校の統合を進めることとし、保護者及び地域との協議を行い、統合校舎の建設計画について検討する。

3．幼稚園・保育所については、旭幼稚園と橘分園、福田幼稚園と福田分園は、幼児教育及び適正な保育を行い、運営的にも効率化を図るため、幼保一元化の実現に向けた具体的な検討を進める。

星城・安田・苗羽の3幼稚園の統廃合については、内海地区の小学校統合の方向性を見ながら、統合及び内海保育所との一元化も含めた検討を進める。

なお、この基本方針を基に、平成21年度から5年間の小豆島町立学校等施設適正配置実施計画を策定し、具体的取り組みの指針とする。また、町議会、保護者及び地域との協議を行いながら、適正配置を進めることとする。